



はじめての日

北名古屋市立師勝小学校二年

小春 結花

わたしは、夏休みにおかあさんのしごとばの「デイサービスひかり」というところに行きました。そこは、しょうがいしゃの人たちがかようところ。おかあさんは、そこでアロマの先生として教えたり、マッサージをしてあげたりしています。

おかあさんから話は聞いていたけれど、車いすにのった人たちをはじめで近くで見たらすごくきんちようしました。みんな一人ではうごけなくて、すこししか話ができません。

たまに大きなこえを出したり、うごいたり、ほっさというものがでたりしました。そのたびにわたしは、おかあさんの近くにいつてすこしかくれて見ていました。ちよつとこわいなとかんじました。スタッフの人は、あわてずにおせわしていました。わたしだけが、体がかたまつてボーッとしていました。

おかあさんは、みんなから「先生」とよばれていてびっくりしました。しゃべり方もいつもとちがつてかつこよかったです。アロマは、体にとつてとてもよいこがあるそうです。

その日は、みんなでアロマの虫よけスプレーづくりをしました。さいごにスプレーのようきをふるときわたしは、しょうがいしゃの手をにぎっていつしよにふりました。その手は、とてもほそくてふわふわでやさしくようきをぎっていました。わたしは、きんちようしたけどさっきまですこしこわかった気もちがなくなりました。

そのあとは、アロママッサージのおてつだいをしました。アロマのかおりのするあたたいタオルを、おかあさんといっしよにしょうがいしゃの人のうでにやさしくつつんであげると、その人はすこしにこつとえがおになったように見えました。おかあさんがマッサージをするとみんな力がぬけて気もちよさそうなかおになっていました。「アロマのこうかだよ」とおかあさんは言いました。よくわからなかったけど、気もちいいとかんじるのは、みんな同じなんだなと思いました。

スタッフの人たちは、たいへんそうだけどたのしいうにしょうがいしゃの人にたくさん話しかけていました。そして、わたしのおかあさんもアロマでしょうがいしゃの人たちのやくになつてゐるのが分かつて、かつこいいなと思いました。

はじめて行つたデイサービスというところ、はじめてさわつたしょうがいしゃの人の手、はじめて見るおかあさんのすがたでむねがいつぱいになった一日でした。

「らいねんの夏休みもおてつだいをしてくれる？」とおかあさんに聞かれて、「うん」とこたえました。

